

劇場・音楽堂等による 共生社会実現のための人材養成講座 熊本県研修会

～ 公共ホールが地域をささえる ～

「共に生きる」とはどのようなことでしょうか？どんな人とどんな人が共に生きることができれば、私たちは幸せになれるのでしょうか？どんなことがその実現への「障害」となっているのでしょうか？

みなさんのホールがある地域に暮らす、障害があるとされる人、病にかかっている人、子ども、若者、居場所が見つからない人、お年寄り、外国にルーツをもつ人たち、さまざまな人たちの中には、あなたやわたし、その家族や友人も含まれています。わたしたちが「共に生きる」ために、文化芸術を通してできることはまだまだたくさんあります。

公共ホールが出会いとつながりをつくり、地域をささえるとはどういうことなのか。文化芸術以外の分野とも連携し、ホールどうしもつながりあって、共に生きる方法を考えてみましょう。

日時 **2024年12月6日(金) 14:00～16:00 (受付13:30～)**

会場 **宇土市民会館 大会議室(事務棟2F)**

参加費 **無料**

定員 **100人**

対象 **劇場・音楽堂等に関連のある方、興味のある方どなたでも**

内容 講演：**吉野さつき(愛知大学文学部 教授)**

事例発表：**嶺 浩子(熊本県立劇場 施設サービスグループ)**

クロストーク：**吉野さつき、嶺 浩子、本田恵介(宇土市民会館 館長)**

お申し込みは下記フォームもしくはお電話で 締切:12月1日(日)

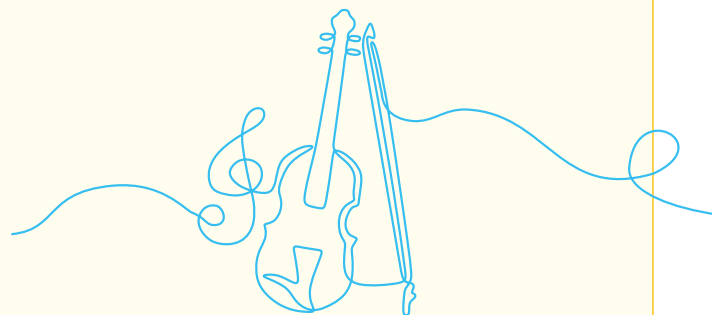
申し込みフォーム <https://forms.gle/i2Q3cqZnB8xvfkVD9>

お電話 **096-363-2234** ※定員になり次第締め切ります

主催 文化庁
公益社団法人全国公立文化施設協会
熊本県公立文化施設協議会
宇土市民会館

後援 公益財団法人熊本県立劇場

お問い合わせ 熊本県公立文化施設協議会 ☎096-363-2234 (熊本県立劇場内)



熊本県研修会

～ 公共ホールが地域をささえる ～

講師プロフィール

吉野さつき

愛知大学文学部人文社会科学現代文化コースメディア芸術専攻教授

英国シティ大学大学院でアーツ・マネジメントを学び、公立劇場勤務、英国での研修（文化庁派遣芸術家在外研修員）を経て教育、福祉等の場で芸術を用いた活動に携わる。日本財団、国際障害者交流センター等との共同調査研究「障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査報告書」「障がい者による舞台芸術活動に関するケーススタディ調査」（2016年）。2017年度～2019年度厚生労働省の障害者芸術文化活動普及支援事業評価委員。2021年度～2022年度文化庁の障害者等による文化芸術活動推進事業に係る企画審査委員。2022年度障害者文化芸術活動推進有識者会議構成員。Open Arts Network メンバー。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」メンバー。

嶺 浩子

熊本県立劇場 施設サービスグループ

熊本県立劇場の人材育成「公共ホール制作スタッフ養成講座」を経て劇場職員となる。主に演劇事業と社会包摂の観点に立った事業に携わる。

教育や医療・福祉の関係者と連携して、ファシリテーターやコーディネーターの育成及びワークショップ・プログラムの研究開発に取り組み、学校や障がい者・高齢者施設等の多様な現場でワークショップを实践、舞台芸術の持つ可能性を検証する。「共生の劇場」を理念とする劇場職員として、地域とのつながりを深めながら多様性を認め合う事業を模索している。

本田 恵介

宇土市民会館 館長

1982年、熊本県立劇場開館時に財団職員として採用され、2022年3月まで約40年間勤務。この間、自主文化事業を中心に携わったほか、2016年の熊本地震では事務局長として復旧・復興にあたり、全国公立文化施設協会研究大会をはじめ、県内外で震災報告を行う。在任中は、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能など幅広い分野の事業制作にあたったほか、県内舞台制作スタッフの養成など人材育成にも力を入れた。

2023年7月、宇土市民会館の館長に就任。

現在、全国公立文化施設協会の専門委員会特別部会委員のほか、熊本市男女共同参画センターはあもにい運営審議会委員、熊本市流通情報会館評議委員会委員を務める。

